

視覚障がい者
サポート活動

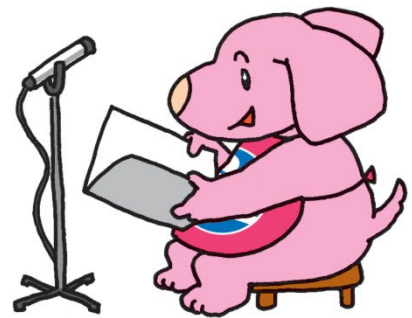
グループ名 **音声訳グループ “ピノキオ”**



活動場所	南区福祉保険活動拠点
活動日時	第4火曜日(定例会・勉強会)
	第2火曜日(ダビング・発送)
	随時(対面・プライベートの録音等)
代表者	小竹 元夫
ボランティア人数	10名
連絡先	南区ボランティアセンター
TEL	045-260-2531
FAX	045-251-3264

活動内容・活動歴

平成4年2月発足。南区を中心とした視覚障がい者に毎月、生活情報(60分)、小説(90分)、エッセイ(60分)をCD(デージー図書)にして20名あまりの方にお届けしています。またテープを希望される10名ほどの方にも発送をしています。
プライベートの本、カタログ等の対面朗読を希望される方への対応もしています。
情報は毎月新聞・雑誌などから新鮮な記事をメンバーが集め、小説・エッセイもできる限り話題になったものなどをお届けするように努力しています。
毎月南視協のコーナーがあり、お伝えしたい事柄や行事等協会の情報をお届けしています。誘導ボランティアグループ“つばさ”と連携しながら視覚障がいの方々と交流を図り、喜んでいただいています。



利用者の声

私達のCD・テープを毎月とても楽しみにして聴いていますとお礼状をいただきました。また毎月送るCDの・テープの感想をメールで送って下さる利用者もいます。



活動についてのQ&A (ボランティアメンバーの声)

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは？
いつ頃から？

A. 社協主催の講習会をきっかけに活動してきました。本など読むことに関心があります。

Q. 活動を行う中で大変だと思うことは？
楽しいと感じることは？

A. テープを作るときの情報を集めること、利用者の方々が喜んでくださった記事・小説を見つけることができ、それを聴きやすいテープに仕上げることが嬉しく、楽しいと思う時です。

Q. 活動をしているメンバーはどんな方達？

A. 老後に入ったメンバーと子育ては一応終わっているが仕事・介護中など、各自事情がある中で活動しているメンバーがいます。本等を読むことが自分の勉強になり、生き甲斐になっています。

Q. 活動をする中で気づいたことは？

A. テープからCD化している中で、視覚障がい者の中に聞きに対する格差がひろがりつつあり、デージー化の問題の難しさです。

ある日のグループ活動

メンバーの録音した小説“万華鏡”のモニターだ！90分テープの半分(45分)のモニターをするのに約2～3時間！聴いて直す点を見つけることは気を遣うので大変です。次は自分の吹き込む本を探しに数回図書館へ！良い本が見つかりコピーをして下読み。プライベートに利用者さんから頼まれた本の録音・準備(下読み・間違いやすい漢字を辞書で調べる等)。200ページほどの本を音訳するには日常生活を送りながら約1ヶ月位かかります。でも出来上がったテープを聴いて喜んで下さる方がいらっしゃるので充実感を感じる。

ぜひ利用してみたい。
手続き・準備はどうすればいい？

南区ボランティアセンターに連絡してください。ピノキオから連絡をとり、希望がありましたらテープを送ります。

ボランティア活動を一緒にやってみ
たい。どうすればいい？

音声訳講習会を2～3年に一回行っています。開講の際は広報などでお知らせします。
また、2月にトモニーで開催されるボランティアフェスタで録音体験を実施しています。。興味のある方は、研修会、定例会、ダビングなどに参加して下さい。会費は年会費1200円です。